

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F101310100187	設置等組織名	総合情報学部総合情報学科
大学名	北星学園大学	設置区分	私立	事業計画名	北星学園大学総合情報学部設置計画
学校種	大学	都道府県	北海道		

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応		
フェーズ1	1-①令和6年8月～新学部設置準備委員会の設置及び事務補助員の配置（令和8年度まで契約） 1-②令和6年8月～新学部設置のためのコンサルテーションの委託（令和8年度まで契約） 1-③令和6年8月～新学部に係る各種調査、視察の実施 1-④令和6年8月～自治体・企業等との事前協議に関する計画の検討・協議 1-⑤令和6年8月～大学間連携（海外大学含む）に関する計画の検討・協議 1-⑥令和6年8月～初等中等教育との接続に関する計画の検討・協議 1-⑦令和6年8月～新学部に係る教員の雇用計画・採用活動の検討・協議 1-⑧令和6年8月～新学部に係るカリキュラム及び多様な入学者選抜制度の検討・協議 1-⑨令和7年1月～新学部に係る広報案の検討・協議 1-⑩令和7年8月～新学部に係る進学及び出口需要等のアンケート依頼	1-①令和6年7月～新学部設置準備委員会の設置（事務補助員の配置は、令和6年度未実施）（令和7年3月24日承認） 1-②令和6年8月～学部長候補者の選定・就任に向けた協議 1-③令和6年8月～新学部設置のためのコンサルテーションの委託（令和6年度未実施）（令和7年3月24日承認） 1-④令和6年8月～新学部に係る各種調査、視察の実施（令和7年3月24日承認） 1-⑤令和6年8月～自治体・企業等との事前協議に関する計画の検討・協議 1-⑥令和6年8月～大学間連携（海外大学含む）に関する計画の検討・協議（令和6年度未実施） 1-⑦令和6年10月～新学部に係る教員の雇用計画・採用活動の検討・協議 1-⑧令和6年10月～新学部に係るカリキュラム及び多様な入学者選抜制度の検討・協議 1-⑨令和7年1月～新学部に係る広報案の検討・協議（令和6年度未実施）（令和7年3月24日承認） 1-⑩令和7年2月～初等中等教育との接続に関する計画の検討・協議	R6年度自己評価 【2】計画を十分には実施していない。 ・教育内容の具体化、学部長候補者の選定、学内調整等に想定以上の時間を要し、一部事業の実施に遅れが生じた。 ・学部新設における最重要課題である学部長候補者の選定については、研究業績のみならず、教育への意識や学部運営に関する十分な経験を有する人材を確保する必要があり、複数の学外有識者との意見交換を重ね、慎重に検討を進めた。その結果、学部長候補者となり得る学外有識者を選定し、委員会の外部委員として選任するに至った。 ・大学間連携や新学部に関する広報案の検討については、令和6年度中の実施には至らなかったものの、自治体や企業等との事前協議については、「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」および「北海道デジタル人材育成推進協議会」への参画を通じて、産学官連携による人材ニーズの把握や、自治体・企業等とのネットワーク構築を着実に進めているところである。 ・今後、学外有識者を加えた検討体制のもと、令和6年度に検討を進めたカリキュラムおよび教育内容の更なる具体化、設置に係るコンサルテーション業務の委託、教員雇用計画の策定および採用活動、新学部に係る広報計画の具体化等について、取組みを加速させる予定である。	○年度自己評価 リストから選択してください。	
	フェーズ2 前倒し	2-①令和6年8月～新学部棟の建設のための基本構想の検討 2-②令和7年4月～新学部棟建設のための設計	2-①令和6年11月～新学部棟の建設のための基本構想の検討（令和7年3月24日承認）	R6年度自己評価 【2】計画を十分には実施していない。 ・基本構想の策定には着手したものの、実際の建設に向けた調査・企画業務の発注には至らなかった。 ・今後、基本構想の具体化と実現に向けて建築委員会を組織し、取組みを加速させる予定である。	○年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和8年3月 総合情報学部総合情報学科設置及び収容定員の総数増加 認可申請予定				
フェーズ1 後倒し	1-⑪令和8年4月～新学部に係る広報活動、オープンキャンパスの実施 1-⑫令和8年4月～事務補助員の配置 1-⑬令和8年4月～新学部設置のためのコンサルテーションの委託 1-⑭令和8年4月～自治体・企業等連携に関する協議 1-⑮令和8年4月～大学間連携（海外大学含む）に関する協議 1-⑯令和8年4月～初等中等教育との接続に関する協議・実施			○年度自己評価 リストから選択してください。	
	フェーズ2	2-③令和8年4月～新学部棟の建設整備 2-④令和8年4月～新学部棟の機器整備		○年度自己評価 リストから選択してください。	
開設又は定員増	令和9年4月 総合情報学部総合情報学科開設（入学定員100人、総合情報学関係）				
フェーズ2 後倒し				○年度自己評価 リストから選択してください。	
				○年度自己評価 リストから選択してください。	
				○年度自己評価 リストから選択してください。	
フェーズ3	3-①令和9年4月～新学部に係る積極的なオープンキャンパス・広報の実施 3-②令和9年4月～新学部開設記念シンポジウムの開催 3-③令和9年4月～自治体・企業等連携に関する協議・実施 3-④令和9年4月～大学間連携（海外大学含む）に関する協議・実施 3-⑤令和9年4月～初等中等教育との接続に関する協議・実施 3-⑥令和9年4月～キャリアセンターによる就職支援 3-⑦令和9年4月～入試・広報戦略の検証			○年度自己評価 リストから選択してください。	
				○年度自己評価 リストから選択してください。	
				○年度自己評価 リストから選択してください。	
定員減又は学部等の廃止	令和6年8月 定員減の届出	令和6年8月 北星学園大学短期大学部募集停止の報告（英文学科：入学定員120名、英語学 生活創造学科：入学定員80名、生活学） 令和7年4月 北星学園大学短期大学部募集停止（同上）			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	北星学園大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">確認を受けている</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">確認の対象に該当しない</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	・教育内容の具体化、学部長候補者の選定に想定以上の時間を要旨、計画に遅れが生じた。 ・学外有識者を加えた検討体制のもと、令和6年度に検討を進めたカリキュラムおよび教育内容の更なる具体化等の取組みを加速させる予定である。				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	・教育研究環境の整備については、基本構想の策定には着手したものの、実際の建設に向けた調査・企画業務の発注には至らなかった。 ・基本構想の具体化と実現に向けて建築委員会を組織し、取組みを加速させる予定である。				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	・現時点までに具体的な計画の策定には至っていない。 ・学外有識者を加えた検討体制のもと、令和6年度に検討を進めたカリキュラムの具体化を進め、実務経験のある教員等による授業科目の配置を検討する予定である。				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組み計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画通りに進んでいる</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">認定を受けておらず申請する意向もない</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;"><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>		認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	北星学園大学
-------------	-------	-----	--------

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a. 地域の中核大学として、関連自治体や企業が持つ具体的な課題を題材とし、地域や企業と協働で解決にあたるPBL型教育を取り入れる。そのことにより、学生が学んだ知識や技術を社会的問題の解決に活かすことのできる実践的教育を推進する。経済および社会福祉の領域では、既に地域社会（自治体含む）および企業との連携の実績があり、加えてフェーズ1の期間中にデータサイエンス、デジタル人材の育成に関する地域内の産学官連携コンソーシアムに参画する計画もあるため、その間に自治体や企業と具体的な検討・協議を重ねながら連携したPBL科目を整備・実施していく計画である。</p> <p>b. 同じ札幌圏にある公立千歳科学技術大学、北海道科学大学、北海道情報大学との間では、教材の共同開発や単位互換などの協定を結んでいるため、フェーズ1の期間中に具体的な検討・協議を通して、他大学と連携した科目の整備・実施体制を検討していく。</p> <p>c. 本学は総数20の北米、欧州、東南・東アジア諸国の大学との間で交換留学の協定を締結済みであり、中にはコンピューターサイエンス、エレクトロニクスの領域で先駆的な業績をもつ大学（米国・マンチェスター大学など）も含まれている。これらの既存のリソースは、新学部においても利用可能であるため、フェーズ1の期間中に国際連携・留学プログラムに関連した科目の設置に係る具体的な検討・協議を進める計画である。</p>	<p>a. 令和6年度においては、北海道内の大学および高等専門学校等で構成される「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」ならびに、産業界・教育機関・行政機関等で構成される「北海道デジタル人材育成推進協議会」への参画を通じて、自治体や企業との連携体制の基盤強化に取り組んだ。これらの活動を通じて、地域課題の共有や人材ニーズの把握に向けたネットワーク形成を着実に進めている。</p> <p>b. 令和6年度においては、具体的な検討や協議を実施するには至らなかった。</p> <p>c. 令和6年度においては、具体的な検討や協議を実施するには至らなかった。</p>	<p>a. 企業や自治体と連携して取り組む具体的なPBL科目の設計や計画の策定には至っておらず、引き続き、これまで構築したネットワークを活用し、教育プログラム設計に関する実質的な協議を進め、計画の具体化を目指していく。</p> <p>b. 既に締結している他大学との協定を踏まえ、今後、カリキュラムや教育方法の検討を進める中で、連携科目の整備・実施体制について具体的な検討・協議を進めていく。</p> <p>c. 連携した科目を新学部の教育にどう位置付けるかについては、学部教育との整合性や実現可能性を含めて検討を進めていく。交換留学プログラムの整備・実施等についても、国際交流担当部署等と連携し、具体的な設計や実施体制の検討を進める。</p>

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>a. 新学部のカリキュラムで学修を進めることができる人材を確保するため、入学者の学力レベルを客観的に把握できる一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜を行うとともに、総合型選抜や学校推薦型選抜においても、数学や情報に関する学識・資格を有する入学者を選抜するような体制を整える予定である。</p> <p>b. STEAM領域におけるジェンダーの多様性を高めるべく、新設する学部の教員組織における女性比率を高めるとともに、女性に限定した選抜の導入を図る。また、学園内3高校の直近（令和5年5月1日時点）の在籍者は1,557名であり、そのうち女子生徒は1,033名である（割合としては66%）。学園内高校3校のなかには女子中学高等学校も設置されており、特に女子高との連携を強化する計画を検討し、さらなる女子学生の確保に向けた取組みを進める。</p> <p>c. 本学がこれまで実施してきた学園内（中・高等学校）連携、及び多くの高等学校との高大連携（出張講義など）は継続しながら、新たに北海道教育委員会や札幌市教育委員会とも連携し、高等教育に求められるカリキュラムの策定や教育の質保証等の仕組みについて情報提供・情報共有を行う予定である。初等中等教育とのスムーズな接続、及びニーズを踏まえた教育体制を構築し、入学者の確保につなげていく計画を検討する。</p> <p>d. 社会人を対象としたリカレント及びリスキリング教育のニーズに対応するため、一年次時点での社会人特別選抜に加え、二年次および三年次の編入枠にも同様の特別選抜枠を設けることを検討する。</p> <p>e. 留学生の受入については、外国人留学生特別選抜を設けるとともに、交換留学制度を用いた留学生の受入れ強化を検討する。本学は総数20の北米、欧州、東南・東アジア諸国の大学との間で交換留学の協定を締結済みであり、中にはコンピューターサイエンス、エレクトロニクスの領域で先駆的な業績をもつ大学（米国・マンチェスター大学など）も含まれている。これらの既存のリソースも活用しながら、海外へのPR強化の方策や受入留学生の住居や事務職員の拡充も踏まえた計画を検討する。</p>	<p>a. 新学部においても、本学の他学部・他学科と同様に、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜といった多様な入学者選抜の方法により、幅広い入学者を受け入れる方針で検討を進めている。養成する人材像や3つのポリシーの検討には着手したものの、具体的な入学者選抜における科目や評価基準の策定には至っていない。</p> <p>b. STEAM領域におけるジェンダーの多様性を高めるべく、教員採用において女性比率を高めることを意識しながら検討を進めており、女性に限定した入学者選抜導入についても同様に検討を進めている。本学は学園内に女子中学高等学校を設置していることから、女性が進学しやすく親和性の高い環境を提供できるという強みがある。女子中学高等学校とは学部設置計画に関する協議を実施し、フィードバックを得ている。今後も継続的に連携し、女子学生の確保に向けた取組みを進めていく。</p> <p>c. 本学がこれまで実施してきた学園内連携や、その他高等学校との高大連携（出張講義など）については継続的に実施した。一方で、北海道教育委員会や札幌市教育委員会との新たな連携については、令和6年度内に具体的な協議や取組を実施するには至らなかった。</p> <p>d. 社会人を対象とした入学者選抜については、既存の特別選抜（社会人選抜）の活用や、2年次・3年次編入学での受け入れ、大学院での社会人特別選抜、科目等履修制度を活用した履修証明プログラムの導入など、複数の受け入れ方法について検討を行った。</p> <p>e. 令和6年度においては、具体的な検討や協議を実施するには至らなかった。</p>	<p>a. 養成する人材像や3つのポリシーの検討は進んでいるが、入学者選抜における科目や評価基準の具体化が今後の課題である。養成する人材像や教育内容との整合を図りながら、数学や情報に関する学力・資格を評価できる具体的な選抜方針の検討を進める。</p> <p>c. 今後、教育委員会との連携の可能性を引き続き探りつつ、学園内や高等学校との既存連携を活かして教育体制の具体化を進める。</p> <p>d. 受け入れ方法について検討は行ったものの、具体的な制度設計や実施方針の策定には至っていないことが課題である。今後、社会人の多様なニーズや学びやすさを踏まえ、実現可能な制度設計に向けて具体的な検討を進めていく。</p> <p>e. 今後、国際交流担当部署等と連携し、既存の交換留学協定や留学生特別選抜制度を活用しながら、海外PRの強化や受入環境（住居・職員体制など）の具体化に向けた検討を進める。</p>

大学名	北星学園大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	801	801																		
		入学者数	人	876	953																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	801	801																		
		入学者数(B)	人	876	953																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.09	1.19																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	3336	3321																		
		編入学定員	人	66	51																		
		在籍者数(D)	人	3578	3676																		
		編入学者数	人	40	31																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.07	1.11																		

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			選定-6年	選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		53,272	51,880	99,808	59,626	68,375	65,435													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	60,424
本事業による助成金の額(F)	千円	1,195,000
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	90,299

特記事項